

JR東労組 ちば

東日本旅客鉄道労働組合
千葉地方本部

千葉県千葉市中央区椿森1-8-3
TEL043-251-6020 056-2937

発行人：中曾根賢次
編集人：情宣担当

2023 A HAPPY NEW YEAR

今年もよろしくお祈りします

迎春



中曾根執行委員長「あいわじ」

明けましておめでとーございませう。

昨年中は、東労組千葉地本の取り組みにご理解、ご協力いただきましたことに、組合員ならびにご家族の皆さまにも深く御礼申し上げます。

2022年は混沌とした一年であったと思います。

会社内を見ても、JR会社はもとより、グループ会社を含めて新たな職場ができるなど、組織の再編が続いております。

JR本体では「連携と融合」という名のもとに、企画業務と、乗務や駅業務を兼ねて行うなど、社員の働き方を変えようとしています。そして千葉支社は12月22日、提案を行い、統括センター・営業統括センター化をさらに進めようとしています。会社の社員説明用資料においても、企画業務を行いながら、駅業務や乗務をするような働き方が提起されています。

様々な働き方ができることは、魅力的なことばかりでしょうか？乗務をしながら、企画業務のことを考えてしまい、ミスを引き起こしたということがすでに発生しています。また、業務の連携や融合が絡まないところでも、職場では様々な安全にかかわる事象が発生しています。ベテラン社員の退職のほか、組織再編に伴い異動が続く、現場ではこれまでより経験の少ないメンバーで業務を回すような実態が現れてはいませんか？技術の進歩により、人間の行う仕事をサポートしてくれる道具は増えました。それでも人間が行う仕事ですから、最後は人間の注意力に頼る場面はまだあります。安全の最後の砦は人間であることを私たちは忘れてはなりません。そして、サービスマンにおいてもみどりの窓口を閉鎖して指定席券売機や「話せる券売機」の設置、ワンマン運転の拡大も行ってきました。営業費用を削減して、経営の効率化を目指すことは必要なことでもある一方、サービスマンの低下により、お客さまの選択肢から外れ、売り上げの低下に繋がることも考えなければなりません。何より、効率化は私たちの雇用にも影響します。働く場がなくなることも繋がるのです。私たちは労働組合として、この視点を忘れずに施策に向き合うことが重要です。組合員の皆さんと今年も多く議論を重ねていきたいと思っております。

連合は2023年の春季生活闘争の方針を発表し、賃上げについて、純ベアで3%、定期昇給分を含め5%の方針を掲げました。今、日本の労働者の賃金は世界レベルで見ても、とても安いということが明らかになっています。ここ20年上昇していないのです。昨年はロシアによるウクライナ侵襲が始まりましたが、未だ収束の見通しが立っていません。そんな中、日本政府は軍事費を増やすために、増税を検討しています。ロシア-ウクライナ情勢以外にも、世界のあらゆる箇所で不穏な情勢を示しており、地球上から争いがなくならないような状況になっています。そんな状況を見て、世論も国防への関心が向いているようです。そのため、増税もやむなしといった意見も聞こえてきています。しかし現実、市民は上昇しない賃金の中で、物価高に苦しむ生活を送っています。

そのような背景があり、私たちは、23春闘の要求を作り上げるわけです。上記のような働き方、世の中の状況、全てを勘案して、本当に私たちのための、健康で文化的な生活ができるような賃金を勝ち取るべく、どのようなたたかいを構築するのか皆さんとともに考え、議論して要求づくりに繋げていくことが重要です。

昨年一年間においても、組合員の皆さんの奮闘により、組織拡大を実現することができました。地道な積み上げではありますが、とても重要なことです。千葉地本は「要求実現と組織拡大は両輪」を共通認識にして取り組んできました。このことを意識して今年もさらなる組織拡大を実現していきます。今年も、皆さまにとって「安全・健康・ゆとり」ある一年となることを祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。



美世志会「あいわじ」

当たり前の組合活動への不当弾圧から20年！

これからも美世志会は決意新たに闘います！



新たな年を皆さんはどのように迎えられたでしょうか。新年を業務中に迎えた仲間もいることと思います。大変お疲れ様です。皆様にとって良い一年となりますよう、祈念いたします。

私たちは、20年前の新年を東京拘置所の独居房で迎えました。暖房もない、すきま風が吹き込む極寒の房の中で、仲間が差し入れてくれた半纏で寒さをしのぎながら、紅白歌合戦をラジオで聞き、減光された薄暗い房の中で独り年を越しました。そして、特別に配当されたおせち料理、まだ凍ったままのマグロの刺身を、仲間と家族のことを思い浮かべながら食べたことを思い出します。

あれから20年。仲間と共に闘い抜き、労働者として、JR総連・JR東労組組合員として、胸を張って生き、仲間と家族と新年を迎えられることを有難く、そして誇りに思います。

戦争、軍備増強、民主主義の否定、労働運動の右傾化、会社の暴走、地方ローカル線問題等、課題が山積していることは、20年前も今日も変わりません。

美世志会も7名での議論を通じて団結をさらに強化していきます。そして、厳しい今だからこそ、悩みながらも闘いの道を選んだJR東労組の職場の仲間たちに私たちの経験を伝え、組織強化・拡大に向けて、今年も仲間の皆さんと共に、闘いを続けていきます。本年もよろしくお祈りいたします。

美世志会代表 山田 知

第43回定期地本委員会

日時：2月27日(月)12時～
場所：千葉市民会館小ホール

最新情報は千葉地本
ホームページで発信中



鉄道ファミリーは
組合員と共に歩み
皆様をしっかりとサポートします

迎春

今年もよろしく
お祈りします



JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031東京都品川区西五反田3-2-13
目黒さつきビル
電話 J R058-4114・5 N T T 03-3490-3862